

(公社) 沖縄県建築士会 副会長
株式会社 国建

常務取締役 平良 啓

平成28年度建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰を受賞した(株)国建の平良啓常務取締役。温厚な人柄にして人格円満な平良氏は、建築設計の専門家として数多くの建築物を卓越した技術と見識で完成させ、建築設計業界での業績は周囲の認めるところである。専門家集団である建築士会の活動にも深い理解を示し、活動を通して後進の指導育成に積極的に取り組む姿勢は多くの人望を集めている。平良氏のこれまでの功績を紙面で紹介する。

建設事業功勞

氏は、昭和48年3月に沖縄県立沖縄工業高等学校を卒業後、(株)国建に就職し、大型ホテルの設計や商業施設、保育園など、多くの建築物の設計に参画。その後、もっと広い視野で建築を見つめる必要を感じ、昭和50年4月に九州産業大学に入学して、あ

らためて建築を勉強し、各地の有名建築などを訪ねて見聞を広めた。昭和54年4月、開設間も



株式会社 国建
平良 啓 氏

昭和61年度から63年度にわたって国営沖縄記念公園事務所から発注さ

ら発注された「首里城正殿基本・予備・実設計業務」では、受注した(二社)日本公園緑地協会のワーキングスタッフとして参画し、正殿の工事監理業務でも現場担当者として3年間従事した。平成4年の首里城公園一部開園後も首里城の復元整備事業は継続されており、(株)国建が受注した建物の調査・設計業務で、氏は管理技術者を務めている。

さらに、首里城復元整備事業での経験を生かし、沖縄県内の歴史的建造物の復元・保存修理事業にも従事。浦添城の石碑復元や、読谷村の番所復元、糸満市では国指定登録有形文化財の古民家の保存修理、沖縄市とつるま市では戦前建設された文化財の保存修理にも関わった。また、首里城公園内に既に復元されている建築物の保存修理にも設計・監理の責任者として

活動している。このように、氏は、首里城をはじめとする沖縄の歴史的建造物の復興や保存に深く関わり、沖縄の建築文化の発展に寄与している。

沖縄建築文化の継承・発展に尽力

公益社団法人沖縄県建築士会に関する功績・その他
氏は、平成13年9月に沖縄県建築士会に入会。平成17年3月には神戸芸術工科大学大学院において芸術工芸の博士号を取得し、執筆活動や講習会の講師、シンポジウムのパネラーなどを務め、建築士会の学識者として注目を浴びている。

また、建築士会の調査研究委員長に就任し、建築士の知識・技術の向上に多大な功績を残し、平成22年度通常総会において功労者表彰(沖縄県建築士会会長表彰)を受賞。平成24年5月の通常総会では副会長に就任し、多くの活動を提唱・助言するとともに、自らも積極的に関わっている。平成

27年10月には、日本建築士会連合会会長表彰を受賞している。

氏は、(公社)沖縄県建築士会の副会長、那覇市住宅政策等審議会の正委員、沖縄県文化財保護審議会第1専門部会の委員を務め、多様な立場から建造物への助言や提言等を行っている。また、平成24年度からは、沖縄県立芸術大学の非常勤講師として「日本建築及び琉球建築史」の講座を担当しており、建築史の授業を通じて、学生に創造力や発想力の向上について啓発を行っているほか、建築関係の学会やNPOなどの団体にも所属して積極的に活動を行い、沖縄の建築文化の理解と発展に寄与している。

